

授業改善推進プラン

○授業改善の方策 ・具体的な取組

	7年	8年	9年
国語	<p>○生徒が興味・関心をもつ授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の導入を工夫し、デジタル教科書の資料や別資料などを活用して、興味・関心をもって授業を受けられるようにする。 ・発問を多く行い、全員が参加している実感をもてるよう工夫する。 <p>○漢字を使う習慣を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やりとり帳やノートの点検時など、日頃から漢字を注視する。また、分からない漢字に関しては、辞書で調べる。 ・STEP 2を生かし、既習漢字の復習を行う。 	<p>○生徒が興味・関心をもつ授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の導入を工夫し、デジタル教科書の資料や別資料などを活用して、興味・関心をもって授業を受けられるようにする。 ・発問を多く行い、全員が参加している実感をもてるよう工夫する。 <p>○既習漢字の復習と、聞く力を高める授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・STEP 2を生かし、既習漢字の復習を行う。 ・話し合い活動を通して、メモをとる力や話し合いのルールを再度学習する。 	<p>○生徒が興味・関心をもつ授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の導入を工夫し、デジタル教科書の資料や別資料などを活用して、興味・関心をもって授業を受けられるようにする。 ・発問を多く行い、全員が参加している実感をもてるよう工夫する。 <p>○読解力を向上させる授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続詞や文末、語の前後関係などに注目させ、読解の技術を向上につなげる。 ・古典の文法や語彙に関する内容を充実させ、読解力の向上につなげる。
社会	<p>○基礎的な知識の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識の習得については、それに対応したワークシートの構成と運用を見直し、繰り返しの中で、定着を図る。また、知識を基にした活用場面を増やすことで、思考力等を高めるとともに、基礎的な知識の定着を図る。 <p>○基礎学力の定着と見直し・振り返りの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識・技能の定着を図るため、繰り返し学習した成果を確認する小テスト等を実施する。 ・授業内で「何が分かり」、「何ができるようになり」、「それが自分や社会とどうつながっているか」を整理し、明らかにできるような見直し・振り返り課題を設定することで、生徒自身の理解した実感を高めていく。 	<p>○思考・判断・表現の伸長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習得した知識技能を活用するワークシートを用いて、思考・判断・表現の伸長を図る。知識技能を組み合わせて活用する方法や、標記の仕方等についても、具体的な事例を通して定着させる。 <p>○基礎学力の定着と見直し・振り返りの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識・技能の定着を図るため、繰り返し学習した成果を確認する小テスト等を実施する。 ・授業内で「何が分かり」、「何ができるようになり」、「それが自分や社会とどうつながっているか」を整理し、明らかにできるような見直し・振り返り課題を設定することで、生徒自身の理解した実感を高めていく。 	<p>○苦手分野の復習と基礎的な知識・技能の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識の習得については、それに対応したワークシートの構成と運用を見直し、繰り返しの中で、定着を図る。また、知識を基にした活用場面を増やすことで、思考力等を高めるとともに、基礎的な知識の定着を図る。 ・地理的分野・日本の地域構成の定着が不十分なので、入試対策と合わせて重点的に復習をする。 <p>○基礎学力の定着と見直し・振り返りの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識・技能の定着を図るため、繰り返し学習した成果を確認する小テスト等を実施する。 ・授業内で「何が分かり」、「何ができるようになり」、「それが自分や社会とどうつながっているか」を整理し、明らかにできるような見直し・振り返り課題を設定することで、生徒自身の理解した実感を高めていく。
数学	<p>○解答を自分のことばで説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記述問題に対応するため、自分の考え方を記述する場面を増やしていく。また、記述した内容を発表する場面も増やしていく。 <p>○問題演習を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テストや定期考査で計算ミスを減らすため、授業での演習時間を増やし家庭学習の習慣を確立していく <p>○「めあて」「見直し」の明確化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の授業の「めあて」を明確にし、「見直し」をもって授業に臨むことで、積極性と興味・関心を高めていく。 	<p>○STEP2を活用して、単元の復習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・STEP2を単元、項目毎に取り組めるようにする。個別に苦手分野を学年関係なく、演習できるようにする。 <p>○見方・考え方を問う発問を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学的な知識や技能をもとにその問題に対して、考え方を発表する場面を増やしていく。 <p>○「めあて」「見直し」の明確化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の授業の「めあて」を明確にし、「見直し」をもって授業に臨むことで、積極性と興味・関心を高めていく。 	<p>○STEP2を活用して、単元の復習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・STEP2を単元、項目毎に取り組めるようにする。個別に苦手分野を学年関係なく、演習できるようにする。 <p>○入試問題に挑戦する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内で入試問題に挑戦、振り返りを行い、3年間の数学のスパイラル学習を行っていく。 <p>○「めあて」「見直し」の明確化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の授業の「めあて」を明確にし、「見直し」をもって授業に臨むことで、積極性と興味・関心を高めていく。
理科	<p>○主に物理や化学においては、理解することを重点とし、観察・実験の機会を増やし、日常生活との関連性等の生徒の興味・関心を高める内容の工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に生徒と教師の間で発問を行い、小テスト等の問題演習で基礎的な内容の理解を確認する。 ・定期考査前に学習内容の振り返り及び基礎的な内容やキーワードの確認を行う。定期考査後に個人面談を実施し、成果と課題を確認する。 ・定量的な学習内容の理解のため、単位の説明や計算方法の理解のために演習を行う。 ・思考する学習内容やレポート作成にICTを積極的に活用する。 	<p>○基礎的な内容の定着に重点を置いて、観察・実験の機会を増やし、日常生活と関連付けること等の生徒の興味・関心を高める内容の工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内での発問や復習による反復練習を行い、小テスト等の問題演習で間違え直しに重点を置き、基本的な内容の理解の定着を図る。 ・定期考査前に学習内容の振り返り及び基礎的な内容やキーワードの確認を行う。定期考査後に個人面談を実施し、成果と課題を確認する。 ・観察・実験の結果の考察で考える機会を増やし、考察を具体的に記述することを指導する。 ・思考する学習内容やレポート作成にICTを積極的に活用する。 	<p>○授業中に発言や質問する機会を増やし、観察・実験や問題演習で考える機会を増やす。地学では、災害等の生活と関連付けて、興味・関心を高める授業を試みる。観察・実験の機会を増やし、生徒の興味・関心を高めるための教材の工夫等をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題集を活用し、1・2年の基礎的な内容を確認する。生徒と教師の間の質問を積極的に行い、小テスト等の問題演習で理解について確認する。 ・定期考査前に学習内容の振り返り及び基礎的な内容やキーワードの確認を行う。定期考査後に個人面談を実施し、成果と課題を確認する。 ・思考する学習内容やレポート作成にICTを積極的に活用する。
音楽	<p>○生徒が興味・関心をもって積極的に取り組める授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見直しをもって取り組めるよう、本時の活動の流れ、題材を通した活動の流れを掲示する。 ・何を学んだかを題材ごとに振り返ることができるよう、ワークシートを工夫する。 <p>○様々な曲で繰り返し取り上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材をまたいで、新しい曲を学習する際に、楽譜に書いてあることを音楽の要素に分けて整理し、チェックしていく活動を繰り返し行い、確実な知識の定着を図る。 	<p>○生徒が興味・関心をもって積極的に取り組める授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見直しをもって取り組めるよう、本時の活動の流れ、題材を通した活動の流れを掲示する。 ・何を学んだかを題材ごとに振り返ることができるよう、ワークシートを工夫する。 <p>○視覚化して例示し、語彙を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想を表す言葉の一覧を掲示し、苦手な生徒はそこから選択して学習に取り組めるようにする。 	<p>○生徒が興味・関心をもって積極的に取り組める授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見直しをもって取り組めるよう、本時の活動の流れ、題材を通した活動の流れを掲示する。 ・何を学んだかを題材ごとに振り返ることができるよう、ワークシートを工夫する。 <p>○様々な曲で繰り返し取り上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材をまたいで、新しい曲を学習する際に、楽譜に書いてあることを音楽の要素に分けて整理し、チェックしていく活動を繰り返し行い、確実な知識の定着を図る。

○授業改善の方策 ・具体的な取組

	7年	8年	9年
美術	<p>○題材に関連する既習事項を振り返る学習活動を行い、本時で生徒のもつ知識を関連付けしやすい環境を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の始めに、題材に関連する既習事項の確認を行い、生徒の身近な題材から学習を広げる。 <p>○興味・関心を引き出すために、題材を再検討し、生徒の実態に合う授業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の身近な地域や興味のある事柄に関連付けた導入を行う。 	<p>○振り返りシートや制作計画を活用して、生徒が自分で制作の見通しをもつ学習ができる授業のデザインをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートの個人目標や見通しの欄を活用しやすくなるよう再検討する。 ・振り返り時の机間指導での対話を一層充実させる。 <p>○興味・関心を引き出すために、題材を再検討し、生徒の実態に合う授業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の身近な地域や興味のある事柄に関連付けた導入を行う。 	<p>○既習事項に関連する題材で再確認し、共通理解を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材の第1時に、関連する既習事項について必ず振り返り、再確認する。 <p>○興味・関心を引き出すために、題材を再検討し、生徒の実態に合う授業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の身近な地域や興味のある事柄に関連付けた導入を行う。
保健体育	<p>○目標、振り返り、評価の充実。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標を明確にするために、ホワイトボードに目標を明記する。また、学習プリント等で振り返りが充実できるようにする。また、個人内評価、相互評価の枠を増やす。 <p>○個人トレーニングについて、自分の課題を理解させ、課題解決につながるトレーニングができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の動きに繋がるトレーニングを導入で行う。 ・授業の際に、計画的に動きを撮影し、生徒同士がアドバイスできるようにする。 ・体育理論、保健の学習とも関連づけて、体力向上についての意義を高める。 	<p>○目標、振り返り、評価の充実。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標を明確にするために、ホワイトボードに目標を明記する。また、学習プリント等で振り返りが充実できるようにする。また、個人内評価、相互評価の枠を増やす。 <p>○他の生徒に知識、技能等を伝えられる力を養うため、学習カード等を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスカードを活用する。 <p>○個人トレーニングについて、自分の課題を理解させ、課題解決につながるトレーニングができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の際に、計画的に動きを撮影し、生徒同士がアドバイスできるようにする。 ・体育理論、保健の学習とも関連づけて、体力向上についての意義を高める。 	<p>○目標、振り返り、評価の充実。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標を明確にするために、ホワイトボードに目標を明記する。また、学習プリント等で振り返りが充実できるようにする。また、個人内評価、相互評価の枠を増やす。 <p>○他の生徒に知識、技能等を伝えられる力を養うため、学習カード等を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスカードを活用する。 <p>○個人トレーニングについて、自分の課題を理解させ、課題解決につながるトレーニングができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の際に、計画的に動きを撮影し、生徒同士がアドバイスできるようにする。 ・体育理論、保健の学習とも関連づけて、体力向上についての意義を高める。
技術	<p>○生徒の興味関心を高めるための活動を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器をさらに活用して興味関心、分かりやすさを具体的な資料提示をする。また、個に応じた指導を行う。 <p>○実習に必要な技能と知識を身に付ける活動を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識が実習につながることを理解させるために作業のポイント、以前の学習を振り返る、他者の意見を聞くなどの時間を意識的に作り、学びにつなげる。また、作業進度に応じた個別指導も行う。 <p>○目標、まとめを毎時間実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の始めに目標を明確に提示する。授業の終わりには目標に対してのまとめとして自己評価を行う。 	<p>○生徒の興味関心を高めるための活動を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器をさらに活用して興味関心、分かりやすさを具体的な資料提示をする。また、個に応じた指導を行う。 <p>○実習に必要な技能と知識を身に付ける活動を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識が実習につながることを理解させるために作業のポイント、以前の学習を振り返る、他者の意見を聞くなどの時間を意識的に作り、学びにつなげる。また、作業進度に応じた個別指導も行う。 <p>○目標の掲示、まとめを毎時間実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の始めに目標を明確に提示する。授業の終わりには目標に対してのまとめとして自己評価を行う。 	<p>○生徒の興味・関心を高めるための活動を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器をさらに活用して興味関心、分かりやすさを具体的な資料提示をする。また、個に応じた指導を行う。 <p>○実習に必要な技能と知識を身に付ける活動を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識が実習につながることを理解させるために作業のポイント、以前の学習を振り返る、他者の意見を聞くなどの時間を意識的に作り、確認しながら学びにつなげる。また、作業進度に応じた個別指導も行う。 <p>○目標の掲示、まとめを毎時間実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の始めに目標を明確に提示する。授業の終わりには目標に対してのまとめとして自己評価を行う。
家庭	<p>○単元毎の指導計画を見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の目標と本時のねらいを明確に提示する。 ・スライドとワークシートを改善する。 ・実物の手本や視聴覚教材を充実させる。 <p>○家庭分野に関する知識の定着を図るための工夫を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを改善する。 ・題材毎に知識の定着を確認する機会をつくる。(小テストの実施) 	<p>○単元毎の指導計画を見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の目標と本時のねらいを明確に提示する。 ・スライドとワークシートを改善する。 ・実物の手本や視聴覚教材を充実させる。 <p>○知識・技能の基礎・基本の定着後、活用する場面を多く設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実物や写真、動画等の視覚教材を多く用いる。 	<p>○単元毎の指導計画を見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の目標と本時のねらいを明確に提示する。 ・スライドとワークシートを改善する。 ・実物の手本や視聴覚教材を充実させる。 <p>○見通しをもてる授業づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れを掲示する。 ・写真や動画等の視覚教材を多く用いる。
外国語	<p>○生徒が興味・関心をもって積極的に取り組める授業づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心をもてる英語を使ったアクティビティをより活用する。 <p>○生徒が分かったと感じる授業づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何を学んだかを Lesson ごとに振り返ることができるよう、ワークシートを工夫する。 ・一度学習した文法事項をスパイラルで使う機会を与え、繰り返し触れながら定着させる。 <p>○英単語のスペルを定着させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単語テストを単元毎に、スペリングコンテストを学期毎に実施し、また間違えた単語を何度も練習させることにより、確実な知識の定着を図る。 	<p>○生徒が興味・関心をもって積極的に取り組める授業づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心をもてる英語を使ったアクティビティをより活用する。 <p>○生徒が分かったと感じる授業づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何を学んだかを Lesson ごとに振り返ることができるよう、ワークシートをより工夫する。 ・一度学習した文法事項をスパイラルで使う機会を与え、繰り返し触れながら定着させる。 <p>○生徒が自分で考えたことを英語で表現できるようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現が中心の Project や Lesson の USE Write を活用し、自分の考えをまとめ、表現できるようにする。また、そのためのワークシートをより工夫する。 	<p>○生徒が興味・関心をもって積極的に取り組める授業づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心をもてる英語を使ったアクティビティをより活用する。 <p>○生徒が分かったと感じる授業づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何を学んだかを Lesson ごとに振り返ることができるよう、ワークシートを工夫する。 ・一度学習した文法事項をスパイラルで使う機会を与え、繰り返し触れながら定着させる。 <p>○長文問題を読解できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Lesson の USE Read を活用し、なおかつ読解問題演習を行い、読解力をつける。 <p>○生徒が自分で考えたことを英語で表現(書くことが)できるようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現が中心の Project や Lesson の USE Write を活用し、自分の考えをまとめ、表現できるようにする。また、そのためのワークシートをより工夫する。